

## 平成30年度 鳥取県立博物館 当初予算について

(単位:千円)

番号	事業名	H30当初 予算額 (A)	H29当初 予算額 (B)	差引 (A) - (B)	主な増減等
1	企画展開催費	89,575	87,187	2,388	H31年度企画展開催準備 (+2,288)
2	博物館運営費	91,417	97,892	△ 6,475	一部事業の普及事業への移管、 ホームページ運営経費の削減など
3	博物館交流事業	3,788	1,530	2,258	河北博物院交流20周年記念展 の開催 (+2,258)
4	収蔵資料管理事業	5,509	5,603	△ 94	
5	自然事業費	14,160	15,294	△ 1,134	
6	人文事業費	23,769	28,607	△ 4,838	藩政資料デジタル化の進捗調整 (△2,225)など
7	美術事業費	16,896	20,050	△ 3,154	貸館の増に伴うテーマ展示の回 数減(△2,674)など
8	博物館普及事業費	12,332	11,342	990	
9	鳥取藩絵師粉本類修 復事業	1,796	1,796	0	
10	美術館・博物館等ネット ワーク強化推進事業	1,557	2,378	△ 821	
11	第11次郷土視覚定点 資料収集事業	7,141	0	7,141	臨時
12	鳥取県立美術館整備 推進事業	4,935	29,928	△ 24,993	別途、6月補正要求を検討中
	計	272,875	301,607	△ 28,732	

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
企画展開催費	債務負担行為 87,400 89,575	87,187	債務負担行為 87,400 2,388			(使用料) 2,380 (諸収入) 7,739	債務負担行為 87,400 79,456	
トータルコスト	133,273千円(前年度:130,901千円) [正職員:5.5人、非常勤職員8.3人]							
主な業務内容	企画展の開催							
工程表の政策目標(指標)	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県の自然・歴史・美術分野の資料、作品、研究成果等や世界的・全国的に貴重な作品等について、企画展として広く県民に紹介する。

2 事業内容

(単位:千円)

企画展名(仮称)	予算額	会期(予定)	内 容
鳥取の化石フェス! 2018	21,409	平成30年 7月14日～ 8月26日	鳥取県内の代表的な化石産地(鳥取市国府町宮下の魚類化石、鳥取市佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石、日野郡日南町多里の貝類化石など)を中心に、産出した新種の化石や古環境などを紹介し、化石産地としての鳥取県について解説する。※実行委員会形式で実施予定。
伯耆国「大山開山1300年祭」大いなる神仏の山 大山—その歴史と民俗—	22,163	平成30年 6月2日～ 7月1日	2018年は、718年に大山が開山されてから1300年に当たる。本展では、大山寺や大神山神社が所蔵する重宝を中心に、全国に点在する大山関係資料を一堂に展示し、大山の歴史・文化的な魅力を紹介する。※実行委員会形式で実施予定。
土方稲嶺 HIJIKATA Torei展	22,065	平成30年 10月6日～ 11月11日	鳥取画壇の祖といわれる土方稲嶺は、江戸時代後期に鳥取で生まれ、晩年には鳥取藩絵師として召し抱えられた。本展では稲嶺個人に焦点を当て、名品を中心に紹介することで、稲嶺像の核に迫り、その真価を浮き彫りにする。※実行委員会形式で実施予定。
ミュージアムとの創造的対話02 Space/Action —空間と行為—	15,978	平成30年 11月23日～ 12月24日	「ミュージアム」という場所や従来の枠組みにとらわれず、実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させるシリーズ企画展。第2回目となる今回は「空間と行為」をテーマに、美術家の創造行為とミュージアムの関係性についての問題を提起する現代美術作家による展示を行う。(第1回は、2017年2～3月に開催した)
Our Collections! —鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから—	5,672	平成31年 2月16日～ 3月10日	鳥取県立美術館の建設に向けた動きを増幅し、さらに多くの方々に関心を持って頂くため、新美術館の核となる県立博物館美術部門のコレクションを、鳥取県による美術品収集の歴史とともに展示する。また、県内外の皆様から寄せられた「新しい美術館で見てみたい作品」についての「ツイート」や、事前に行った人気投票で選ばれた作品なども紹介する。
平成31年度当初開催企画展開催準備	2,288	—	平成31年度当初に開催する企画展の開催準備に要する費用(チラシ・ポスター等のデザイン委託)
合計	89,575		

3 債務負担行為 平成31年度 87,400千円

企画展名(仮称)	会期(予定)
絶滅～残された資料が語る人と動物の物語～	平成31年7月20日～8月25日
黄檗と鳥取藩	平成31年10月5日～11月4日
アメリカ現代美術の流れ展	平成31年4月6日～5月19日
生誕120年 塩谷定好展	平成31年11月16日～12月15日
—静寂なる砂の景— 生誕100年 國領経郎展	平成32年2月8日～3月8日

4 これまでの取組状況、改善点

- 入館者数は、全体として順調に推移しているが、企画展の分野・内容によりかなり差がある。
- 平成28年度に開催した全企画展が、来館者の80%以上の方から、内容について「満足」、「大変満足」という高い評価をいただいている。(大◎荒神展は外部会場開催のためアンケート未実施)
- 今後の入館者増につなげるため、
  - ①県外の博物館、美術館と連携した巡回展、体験行事等を取り入れた企画展など、引き続き魅力的な企画展の開催に努める。
  - ②マスコミとの連携が可能な企画展については、実行委員会形式により、広報面の強化等を図る。
  - ③広報範囲の拡充及び早い時期からの周知開始などにより広報活動を強化する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館運営費	91,417	97,892	△6,475			(使用料) 3,548 (財産収入) 213 (諸収入) 1,261	86,395	
トータルコスト	119,225千円(前年度:125,710千円) [正職員:3.5人、非常勤職員:7.4人]							
主な業務内容	会計事務、物品管理、施設管理、関係機関との調整							
工程表の政策目標(指標)	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

利用者に快適な鑑賞環境を提供するために施設の維持管理を行い、来館者サービスの一層の向上につながるよう、来館者等からの意見を聞きながら博物館を運営する。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
管理運営費	78,208	・非常勤職員(展示看視員・受付職員等)等の人件費 ・各種設備等管理・保守等業務委託費 ・博物館運営に係る光熱水費及び施設修繕費 ・鳥取県博物館振興会(ミュージアムショップ)への補助金
博物館協議会運営費	940	委員報酬等
館内サーバ・収蔵資料DB運用費	1,102	博物館資料を一般公開するためのデータベースの保守管理等
広報等その他事業費	11,167	・各種展示等広報及び企画展図録作成経費 ・図書資料購入費
合計	91,417	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・博物館の円滑な運営のため、来館者の応接、施設・設備の維持管理等を行っており、来館者の要望等を聞きながらサービス向上に向けて取り組んでいる。
- ・館内で行っているアンケート調査では、博物館全体に対する満足度はかなり高く、好評を得ている。
- ・今後の広報活動について、範囲を拡充するとともに、より早い時期から実施するよう改善する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費  
6項 社会教育費  
4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館交流事業	3,788	1,530	2,258				3,788	
トータルコスト	6,172千円(前年度:3,914千円)[正職員:0.3人]							
主な業務内容	訪問、受入、資料交換、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

中国、韓国、ロシアの博物館(河北省博物院、国立春川博物館、アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館)との交流や情報交換等を行う。

平成30年度は、河北省博物院との交流20周年となるため、当館で交流20周年記念展を開催する。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
中国河北省博物院	535	○河北省博物院を訪問し、20周年記念展の打合せ、各館の活動内容や調査研究等、今後の交流について情報交換等を行う。 [平成10年6月 友好交流館として協定締結]
韓国江原道国立春川博物館	300	○春川博物館の職員を受入れ、各館の活動内容や調査研究等、今後の交流について情報交換等を行う。 [平成22年12月 友好交流及び協力に関する協定締結] [平成23年12月 職員相互派遣に関する合意書締結]
ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館	695	○アルセーニエフ博物館を訪問し、今後の両館相互の博物館交流、特に普及活動についての情報交換等を行う。 [平成22年9月 友好交流及び協力に関する協定締結]
(臨) 鳥取県立博物館・河北博物院交流20周年記念展	2,258	○交流20周年を記念し、相手方の伝統工芸・芸能展の展示・ワークショップを行う。平成30年度は河北博物院所蔵の民芸品(武強年画、切絵細工、紙芝居)を当館で展示する。(平成31年度は、当館所蔵の民芸品を河北博物院で展示予定。)
合計	3,788	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・中国河北省博物院とは、20年にわたって相互交流を行い、良好な関係を築いてきており、鳥取県と河北省の友好交流の一端を担っている。
- ・韓国江原道国立春川博物館とは、平成22年度に「友好交流及び協力に関する協定」を締結し、交流を再開して以来、職員の相互派遣を続けており、今後一層の交流促進が期待されている。
- ・ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館とは、平成22年度に「友好交流及び協力に関する協定」を締結し、以来、受入・派遣を重ねて良好な関係を築いており、平成28年度には当館職員がアルセーニエフ博物館で小・中学生向けに化石レプリカの作成体験講座を実施し、平成29年度にはアルセーニエフ博物館による講演会を鳥取西高等学校で開催するなど、教育普及分野での交流が深まりつつある。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館(0857-26-8042)

4目 博物館費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
収蔵資料管理事業	5,509	5,603	△94			6	5,503	

トータルコスト 14,249千円(前年度:14,346千円) [正職員:1.1人、非常勤職員:1.0人]

主な業務内容 被害等調査業務、資料管理業務、害虫等の監視調査等

工程表の政策目標(指標) 生涯学習の環境整備と活動支援

事業内容の説明

1 事業の概要

博物館が収蔵している約25万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
専門的非常勤職員の配置	2,692	「資料管理専門員」1名配置
防虫菌対策	1,561	・真菌類の監視調査費 ・害虫侵入防止等経費 ・害虫菌類の監視調査費
殺虫菌対策	683	・害虫・カビ発生時の殺虫・殺菌経費 ・寄贈資料等館内搬入時燻蒸経費
空気環境測定及び対策検討	177	・収蔵庫内等ギ酸・酢酸・アンモニア等濃度測定経費 ・有害物質の発生源特定・対策検討経費
調査・検討等	396	講習会等への派遣
合計	5,509	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・日常的な温湿度管理、害虫等の監視や侵入防止に努めるとともに、温湿度等のモニタリング結果を踏まえた毎月の対策会議の開催や定期的な館内一斉清掃などにより、薬剤のみに頼らずに博物館資料の保全環境の維持・向上を図っている。
- ・引き続き現在の取組の維持・充実に努めるとともに、さらに効果の高い取組等を積極的に導入して、収蔵資料を一層的確に保全・管理していく。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館（0857-26-8042）

4目 博物館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
自然事業費	14,160	15,294	△1,134			12	14,148	
トータルコスト	37,201千円（前年度：38,343千円）〔正職員：2.9人、非常勤職員：2.0人〕							
主な業務内容	自然に関する資料の収集、展示、保存、調査研究							
工程表の政策目標（指標）	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

自然部門（地学・生物・植物）の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行うとともに、資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を分かりやすい形で展示等に反映する。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
資料収集研究費	12,484	・自然資料（標本・剥製など）の収集、製作、修復等 ・自然事業および展覧会開催に関する調査研究
常設展示費	1,676	常設展示室（地学・生物）の運営、維持管理、展示更新
合計	14,160	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・新しく収集した資料及び調査研究の成果を常設展示の展示替えに反映させるとともに、移動博物館等にも利用し、広く県民に紹介した。
- ・貴重な寄贈資料の整理及び調査を順調に進めており、引き続き、収蔵資料の整理と充実を図っていく。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
人文事業費	23,769	28,607	△4,838			25	23,744	
トータルコスト	53,960千円(前年度:59,604千円) [正職員:3.8人、非常勤職員:5.0人]							
主な業務内容	考古・歴史・民俗に関する資料の収集、展示、保存、調査研究							
工程表の政策目標(指標)	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

人文部門(考古・歴史・民俗)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行うとともに、藩政資料の整備、修復・情報発信を行う。

あわせて、資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を分かりやすい形で展示等に反映する。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
資料収集研究費	6,408	・資料(考古・歴史・民俗)の収集、修復及び企画展の調査研究 ・鳥取県に関わる貴重な歴史資料等の購入
常設展示費	1,548	・常設展示室(歴史・民俗)の運営、維持管理、展示更新等 ・鳥取県の歴史・民俗を象徴する資料の複製品の製作 ・常設展示室の一部展示替及び普及事業等で県内の歴史・民俗事象に関する最新の成果・知見を紹介するための調査
藩政資料活用事業費	15,813	・池田家文書の補修、複本製作(第2次16ヶ年計画(H17~32)の14年目) ・鳥取藩政史料の大型絵図のデジタル画像を作成し、資料保護と活用の利便性向上を図る。 (3ヶ年計画(H29~31)の2年目)
(臨)伯耆国「大山開山1300年祭」協力事業	—	・郷土の刀剣の展示 ・米子市美術館で開催の、(仮称)企画展「大山山麓の至宝展—日本刀はじまりの地「大山」ゆかりの伯耆の刀匠—」(会期:7/29(日)~8/26(日))への協力 ・大山町での大山に関する移動博物館 ・大山関係講座への協力
合計	23,769	

3 これまでの取組状況、改善点

資料の収集・保存や調査研究を推進して展示の充実を図っており、そうした対応を一層強化して魅力ある展示や資料出版等を実施することにより、成果を県民に紹介・還元していく。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館（0857-26-8042）

4目 博物館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術事業費	16,896	20,050	△3,154				16,896	
トータルコスト	39,937千円（前年度：43,099千円）〔正職員：2.9人、非常勤職員：1.4人〕							
主な業務内容	美術に関する資料の収集、展示、保存、調査研究							
工程表の政策目標（指標）	博物館機能の充実							
<b>事業内容の説明</b>								
<b>1 事業の概要</b>								
美術部門（絵画・彫刻・工芸・写真等）の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行うとともに、資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を分かりやすい形で展示等に反映する。								
<b>2 事業内容</b> <span style="float: right;">（単位：千円）</span>								
区分	予算額	事業内容						
資料収集研究費	10,848	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術事業や展覧会に関する調査研究</li> <li>・郷土の美術作家に関する調査研究</li> <li>・保存、展示のための資料修復</li> <li>・画廊、作家遺族、作家等からの情報収集及び資料収集</li> <li>・美術品収集に係る収集評価委員会の開催</li> </ul>						
常設展示費	6,048	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世及び近代美術資料の展示公開</li> </ul>						
合計	16,896							
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の来館者のニーズを踏まえつつ、新たな視点を加えた展示等を企画・実施しており、平成29年度の夏休みの子ども向け展示では、「アート・ダイビング」と題して、作品という空間（二次、三次元）に入り込むことを促す仕掛けを施した展示や、これまでにない「影が動く」刻々と変わっていく展示等を実施した。</li> <li>・引き続き、資料収集・調査研究等を推進し、県民に新たな知見や発見を提供するためにより効果的な展示等を実施する。</li> </ul>								



平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館 (0857-26-8042)

4目 博物館費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
博物館普及事業費	12,332	11,342	990			6	12,326	
トータルコスト	36,962千円(前年度:35,981千円)[正職員:3.1人、非常勤職員:1.0人]							
主な業務内容	生涯学習支援、学校教育支援、情報発信							
工程表の政策目標(指標)	生涯学習の推進、博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
生涯学習支援	5,691	・資料作品などを活用した「講座」、「観察会等」の開催 ・「移動博物館」、「移動美術館」の開催
学校教育支援	1,399	・学芸員の派遣や資料の貸出し ・児童・生徒・教員向け講座等の開催 ・著名な科学者等による講演会の開催 ・教職員向け博物館利用促進講座等(教員のための博物館の日)の開催 ・学校訪問による利用ニーズの把握・講座改善への反映
情報発信	5,242	・非常勤職員(1名)の配置 ・広報の拡充(ホームページの更新と掲載情報の充実、SNS(個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なつながりを支援する、インターネットを利用したサービス)の活用等)を推進 ・「鳥取県立博物館ニュース」の発行 ・「鳥取県立博物館研究報告」の発行 ・「鳥取県立博物館総合案内」の発行 ・ミュージアムデータベースシステムの保守
合計	12,332	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・「学校の先生向け講座」等に加え、平成26年度より「教員のための博物館の日」を開催している。その他、自然・人文・美術の各分野において、各学芸員の専門性や県民の要望を踏まえつつ、低年齢層から高齢者までを対象とした、より効果的な教育普及講座を編成・実施している。
- ・普及活動への参加者増に向けた広報を強化するため、広報対象を特化するなど広報戦略を検討し、ホームページだけでなく、特にチラシ・ポスターの配置先に重点を置いた広報に力を入れている。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館（0857-26-8042）

4目 博物館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
鳥取藩絵師粉本類修復事業	1,796	1,796	0				1,796													
トータルコスト	3,385千円（前年度：3,386千円）[正職員：0.2人]																			
主な業務内容	鳥取藩絵師の粉本類資料の修復																			
工程表の政策目標（指標）	博物館機能の充実																			
<b>事業内容の説明</b>																				
<b>1 事業の概要</b>																				
鳥取藩絵師の小畑稻升、黒田稻皐、沖一峨の門人らを中心とする粉本類資料の修復を4か年計画で行い、今後の展示に活用する。（4か年計画の4年次目）																				
<b>2 事業内容</b>																				
以下の資料について、紙継ぎ部分の補修及び資料に強度を持たせるための本紙への裏打ちを施す。																				
<各鳥取藩絵師の作品数>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>作品区分</th> <th>件数</th> <th>枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小畑稻升粉本類</td> <td>77件</td> <td>85枚</td> </tr> <tr> <td>黒田稻皐粉本類</td> <td>45件</td> <td>370枚</td> </tr> <tr> <td>沖一峨門人粉本類</td> <td>39件</td> <td>108枚</td> </tr> </tbody> </table>									作品区分	件数	枚数	小畑稻升粉本類	77件	85枚	黒田稻皐粉本類	45件	370枚	沖一峨門人粉本類	39件	108枚
作品区分	件数	枚数																		
小畑稻升粉本類	77件	85枚																		
黒田稻皐粉本類	45件	370枚																		
沖一峨門人粉本類	39件	108枚																		
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b>																				
修復が完了した作品は随時常設展示等で紹介し活用しており、来館者から好評をいただいている。																				
<実施状況>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>作品区分</th> <th>修復済 件数（枚数）</th> <th>H30修復予定 件数（枚数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小畑稻升粉本類</td> <td>77件（85枚）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>黒田稻皐粉本類</td> <td>16件（341枚）</td> <td>29件（29枚）</td> </tr> <tr> <td>沖一峨門人粉本類</td> <td>0件（0枚）</td> <td>39件（108枚）</td> </tr> </tbody> </table>									作品区分	修復済 件数（枚数）	H30修復予定 件数（枚数）	小畑稻升粉本類	77件（85枚）	—	黒田稻皐粉本類	16件（341枚）	29件（29枚）	沖一峨門人粉本類	0件（0枚）	39件（108枚）
作品区分	修復済 件数（枚数）	H30修復予定 件数（枚数）																		
小畑稻升粉本類	77件（85枚）	—																		
黒田稻皐粉本類	16件（341枚）	29件（29枚）																		
沖一峨門人粉本類	0件（0枚）	39件（108枚）																		

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業	1,557	2,378	△821				1,557	
トータルコスト	6,324千円(前年度:7,147千円) [正職員:0.6人]							
主な業務内容	T.M.N.への補助業務、T.M.N.事務局としての連携計画具現化の検討及び博物館資料アドバイザーと加盟館との仲介等							
工程表の政策目標(指標)	博物館機能の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県ミュージアム・ネットワーク(以下「T.M.N.」という。\*)が実施する、①県内の美術館・博物館等における具体的な協力連携の取組、②各館の歴史民俗資料の保存活用機能を向上させる取組を支援することにより、県内の博物館等の連携基盤を確立してネットワークの強化を図る。

(\*) 県内の博物館、美術館、歴史民俗資料館、考古資料館等の相互連携を密にし、博物館等の運営や事業の発展と向上を図ることを目的として平成15年に設立。県立博物館内に事務局を置き、鳥取市歴史博物館、倉吉博物館、米子市美術館、渡辺美術館等県内の公私の52施設が加盟。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
T.M.N.への補助金交付	1,557	T.M.N.が加盟館を対象にして実施する次の事業に補助する。 (1) 美術館等協力連携推進支援事業 平成29年度に策定した「T.M.N.美術館等協力連携計画」に掲げた方針を具現化する取組。 ①加盟館学芸員による連携戦略会議の開催 ②加盟館学芸員の資質向上を目的とした研修会の開催 (2) 博物館資料アドバイザー派遣事業 平成29年度に博物館資料アドバイザーに委嘱した外部の歴史・民俗研究者や専門家を、4歴史民俗資料館に派遣し、資料の保管・展示改善の指導等を実施。 ○アドバイザーの謝金及び旅費等 (T.M.N.がアドバイザーに支払う謝金等の1/2支援)

3 これまでの取組状況、改善点

T.M.N.は、加盟館職員の研修や加盟館相互利用者への入館料減免等を実施し、各館相互のネットワーク機能を高めてきたが、近年の地域の過疎化、高齢化等に伴う古文書等の散逸・毀損等を防ぎ、地域の美術・歴史等の拠点としての役割をさらに高めるため、県立公文書館や図書館等の取組と連携・協力しながら、T.M.N.が実施しようとする各館の資料保存・活用及びネットワークの機能を高めようとする取組の支援を平成29年度から始めており、取組の充実や実効性を高めるため、引き続き支援する必要がある。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館(0857-26-8042)

4目 博物館費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)第11次郷土視覚定点資料収集事業	7,141	0	7,141				7,141	
トータルコスト	7,936千円(前年度:0千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	航空写真撮影委託業者選定・契約、写真整理アルバイトの雇用等							
工程表の政策目標(指標)	博物館機能の充実							
<b>事業内容の説明</b>								
<b>1 事業の概要</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の変化を視覚的かつ的確に把握・理解するため、5年ごとに同一地点(定点)の写真撮影を行い、その写真を歴史資料として収集・保存する。</li> <li>市町村教育委員会と共同で実施。</li> </ul>								
<b>2 事業内容と事業費</b>								
事業区分	予算額	事業内容						
航空デジタル写真撮影委託費	6,668	航空定点デジタル写真(県内262地点)の撮影						
人件費	214	各市町村教育委員会が撮影した約1,300枚の地上定点写真の整理アルバイト						
需用費・役務費等	259	地形図・整理用品の購入、通信運搬費等						
合計	7,141							
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b>								
<p>本事業は昭和43年度から5年ごとに実施しており、今回で11回目となる。前回は平成25年度に実施した。</p> <p>本事業のこれまで成果は、当館ホームページで「鳥取県内の定点写真」として公開しているほか、移動博物館等においても展示を行っている。</p>								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

4 目 博物館費

博物館 (0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館整備 推進事業	4,935	29,928	△24,993				4,935	
トータルコスト	20,825千円(前年度:45,824千円)[正職員:2.0人]							
主な業務内容	美術ラーニングセンター(仮称)機能の調査研究及び県内美術館の収蔵品のデジタルアーカイブ整備、県民啓発事業に係る事務							
工程表の政策目標(指標)	美術館整備基本計画の策定等							

事業内容の説明

1 事業の概要

数年後の県立美術館開館に向けて、美術館活動の効果を先行して波及させるとともに、県民と連携した美術館づくりを行っていくための経費である。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
(1)(新)「美術ラーニングセンター(仮称)」機能の検討事業	2,475	①対話的鑑賞教育に有効な研究者と連携したデジタルコンテンツの試行と小学生招待等による効果検証 ②小学校の新規採用教員研修(県教育センター主催)での専門講座の開催 ③先進事例の調査(美術館、幼稚園等)
(2)(新)県内美術館等収蔵品デジタルアーカイブ整備調査事業※	510	①データベース関係の専門家を招いた検討会の開催 ②先進事例の調査(国立美術館、デジタル機器メーカー等)
(3)「私たちの県民立美術館」普及啓発事業	1,950	①県民を巻き込んだ美術館づくりワークショップ「アートの種まきプロジェクト」の開催 ②芸術・文化関係者等とディスカッションを行う「ミュージアムサロン」の開催 ③学校や商業施設等での県立博物館の美術コレクションの展示・解説等を行う「コレクション宅配便」の開催
合計	4,935	

※デジタルアーカイブ:美術館等の所蔵品をデジタル画像化して、閲覧検索を可能とすること。

3 これまでの取組状況、改善点

平成29年3月に策定した「鳥取県立美術館整備基本構想」に基づき、県内の文化団体等との意見交換やアドバイザー委員会の助言等により、美術館に求められる機能と特色、施設計画検討の方向性等の検討を進め、平成30年3月に「鳥取県美術館整備基本計画」を策定する予定である。

また、PFI手法導入に関する民間事業者参画打診調査、実現可能性評価、課題整理等を行い、3月にPFI手法導入可能性調査の結果をとりまとめる。4月以降、「県有施設・資産有効活用戦略会議」において整備手法が決定される予定である。

(参考) PFI手法で実施することとなった場合のスケジュール(想定)

- 平成30年6月 PFI事業者選定アドバイザー業務委託関係経費の予算化提案
- 平成30~31年度 PFI民間事業者の募集・決定
- 平成31~32年度 PFI民間事業者による基本設計・実施設計
- 平成33~35年度 PFI民間事業者による建設工事(乾燥期間を含む。)
- 平成36年度 開館(予定)

平成30年度鳥取県立博物館企画展 伯耆国「大山開山1300年祭」  
大いなる神仏の山 大山—その歴史と民俗—の開催について

平成30年5月  
「大大山展」実行委員会

企画展「大いなる神仏の山 大山」を下記のとおり開催します。

## 1 概要

平成30年(2018)は、大山が開かれたという養老2年(718)から1300年に当たります。古来、大山を「神」とする山岳信仰があり、平安時代に大山寺が開基されて以降、地蔵信仰のメッカとして、また牛馬の守護神として全国にその名を馳せました。

近年、大山寺の僧坊跡調査によって中世にさかのぼる貴重な遺物が出土し、全国的な注目を浴びました。さらに、平成28年には「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」として日本遺産に認定され、大山に関する文化財の魅力が再評価されています。

本展では、大山寺や大神山神社が所蔵する重宝を中心に、全国に点在する大山関係資料を一堂に展示します。あわせて初公開となる大山寺中興の祖・豪円関係資料も紹介します。

### 〈展示内容〉

- (1) 古代・中世の大山
- (2) 国指定史跡 大山寺旧境内
- (3) 大山の靈宝
- (4) 国立公園 大山
- (5) 大山の民俗

## 2 会期

平成30年6月2日(土)から同年7月1日(日)まで  
〔29日間、休館日：6月18日(月)、会期中の金曜・土曜は午後7時まで延長開館〕

## 3 会場

鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

## 4 主催

大大山展実行委員会

## 5 関連行事

- ・ギャラリートーク 6月3日(日)、24日(日)
- ・民俗講座「大山と地蔵菩薩」当館学芸員 6月3日(日)
- ・講演会『大山寺縁起』が語るもの 長谷部八朗氏(駒澤大学学長) 6月10日(日)
- ・歴史と民俗を訪ねる会 in 大山 6月17日(日)
- ・歴史講座「大山の仏教美術」中田利枝子氏(岡山県立博物館統括学芸員) 6月24日(日)

## 6 観覧料

一般700円(団体・前売・大学生・70歳以上の方500円)

障がいのある方・要介護者等およびその介護者、難病患者の方、学校教育活動での引率者は減免(観覧無料)

## 平成30年度企画展「とっとりの化石EXPO! 2018」開催要項

### ■趣旨：

鳥取県には、鳥取市国府町宮下の魚類化石、鳥取市佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石、日野郡日南町多里の貝類化石など全国的にも有数の化石産地が存在する。これらの産地からは、トットリムカシギンポ（魚類化石）やイナバムカシアブラゼミ（昆虫化石）など40種を超える新種が発見されており、生物進化の解明や古環境の復元に貢献してきた。

本企画展では、鳥取県内の代表的な化石産地を中心に、産出した化石や古環境を紹介し、化石産地としての鳥取県を再認識・再評価する。そして、この展示を通じて新たな課題を共有し、鳥取県の化石研究の“これから”を展望していきたい。

■会 期：平成30年7月14日（土）～8月26日（日）会期中無休（44日間） 午前9時～午後5時  
土・日・祝日は19時まで開館

■会 場：鳥取県立博物館 第1特別展示室

■入場料：一般500円（団体・前売り・大学生・70歳以上 300円）

高校生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方・要介護者等およびその介護者、  
難病患者の方、学校教育活動での引率者は無料

■主 催：「とっとりの化石展」実行委員会（鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社）

■協 力：大阪市立自然史博物館、笠岡市立カブトガニ博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、倉敷市立自然史博物館、国立科学博物館、庄原市立比和自然史博物館、日南町美術館ほか（予定）

### ■展示構成：

(1) イントロダクション：鳥取県最古の化石の紹介と、化石とは何かを解説することで本企画展の導入とする。

【主な展示資料】三郡変成帯の魚類化石（鳥取県最古の化石）など

(2) 鳥取県の化石：鳥取県各地域の代表的な化石産地を紹介し解説する。あわせて、化石と比較できる現生動植物標本も展示する

・鳥取県東部（鳥取層群普含寺泥岩層・栃本頁岩層）／【主な展示資料】普含寺泥岩層貝類化石、宮下魚類化石群、辰巳峠植物化石群（辰巳峠の植物化石産出層：県指定天然記念物）など

・鳥取県中部（三朝層）／【主な展示資料】三朝植物化石群など

・鳥取県西部（多里層）／【主な展示資料】多里層海棲動物化石群など

(3) 山陰沖の化石：山陰沖で採集された哺乳類化石を、現生標本とともに展示する。

【主な展示資料】ナウマンゾウの切歯化石（鳥取県天然記念物）、マンモスの臼歯化石、セイウチの化石・現生標本など

(4) 隣県の化石：鳥取県の化石と比較できる隣県（島根・広島・岡山・兵庫県）産化石を展示する。

【主な展示資料】島根（出雲層群）、広島（備北層群）、岡山（勝田層群）、兵庫（照来・北但層群）の化石群

(5) 化石発掘への導入：発掘作業に必要な道具・装備等を展示・紹介し、化石発掘について解説する。

### ■関連事業：

●7月15日（日）、8月12日（日）、26日（日）午前10～11時、午後2時～3時「ギャラリートーク」

●7月22日（日）午前10時～正午 自然講座「化石レプリカをつくろう！」

●7月28日（土）午前10時～正午 美術ワークショップ「化石フロッタージュをつくろう！」

●7月29日（日）午後2時～4時 特別講演会「世界の魚類化石：シーラカンスから国府町宮下まで（仮）」

●8月4日（土）午前11時～正午 自然講座「地層のでき方大実験！」

●8月5日（日）午前10時～正午 自然講座「見て！さわって！ホネをたのしもう！」

●8月11日（土）午前10時～午後3時 野外観察会「化石をさがせ！in 春米」

## 自然展示室

### ■「自然の窓」コーナー

- ・平成29年12月14日～平成30年5月10日  
ダイオウイカ プラスティネーション標本 (一澤)
- ・平成30年5月11日～平成30年7月7日 (予定)  
担当 (清末)
- ・平成30年7月8日～平成30年10月4日 (予定)  
担当 (川上)
- ・平成30年10月5日～平成31年1月20日 (予定)  
担当 (一澤)
- ・平成31年1月22日～平成31年4月18日 (予定)  
担当 (田邊)

### ■オオサンショウウオ・コーナー

- ・平成30年夏以降：生きた個体の飼育展示の再開  
(濾過装置等を改修後、安佐動物公園から繁殖個体を譲り受け予定)

## 歴史・民俗展示室「歴史の窓」

- ・平成30年3月27日(火)～平成30年5月6日(日)  
青谷横木遺跡の女子群像 (鳥取県埋蔵文化財センター)
- ・平成30年5月8日(火)～平成30年8月26日(日)  
没後210年奮然敢為尾の人 安陪恭庵 (大嶋)
- ・平成30年10月23日(火)～平成30年12月24日(月・祝)
- ・平成30年12月26日(水)～平成31年2月24日(日)
- ・平成31年2月26日(火)～平成31年4月 日(日)



常設展の展示概要(美術部門)

■1階美術常設展示室

	テーマ
5月31日(木)～7月8日(日) コレクション展Ⅰ	新収蔵品展Ⅰ 油彩画・版画
7月11日(水)～8月19日(日) コレクション展Ⅱ	新収蔵品展Ⅱ 恩田孝徳 大空襲後の東京を描く
8月22日(水)～10月8日(月・祝) コレクション展Ⅲ	新収蔵品展Ⅲ 彫刻・工芸
10月11日(木)～11月25日(日) コレクション展Ⅳ	黒田稲臯と小畑稻升
11月28日(水)～平成31年1月6日(日) コレクション展Ⅴ	新収蔵品展Ⅳ 日本画
1月9日(水)～2月24日(日) コレクション展Ⅵ	鳥取の美術／近世以前Ⅰ
2月27日(水)～4月 コレクション展Ⅶ	鳥取の美術／近世以前Ⅱ

■2階近代美術展示室(第3特別展示室)

	テーマ
7月21日(土)～8月26日(日) テーマ展示Ⅰ (夏休み子供向け企画)	Moving! 一動きとかたち(仮題)
11月23日(金・祝)～12月24日(月・祝) テーマ展示Ⅱ	生誕100年 山本兼文展

※本年度のコレクション展では、昨年度同様、冬の「Our Collections! 展」(2月16日～3月10日)に向けて、来場者アンケート「あなたのお気に入りの1点を教えてください!」を実施予定。

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。  
 ※参加人数が空欄のものは、未実施のものである。

H30.5.4時点

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
移動博物館	計3件				0	0
	自然・人文部門	大山と牛馬守護の信仰	大山町名和公民館	11月1日(木)～ 11月11日(日)		
		大山と牛馬守護の信仰	江府町防災・情報センター	11月15日(木)～ 11月25日		
		とっつりの自然	エキパル倉吉	10月5日(金)～ 10月9日(火)		
移動美術館	計2件				0	0
	美術部門	※洋画作品を中心に紹介予定	若桜郷土文化の里 たくみの館	8月18日(土)～ 9月17日(月・)		
		※洋画作品を中心に紹介予定	北栄みらい伝承館	10月6日(土)～ 10月21日(日)		
学芸員派遣	計2件				0	40
	自然部門	小計2件			0	40
		「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介(その1)	鳥の劇場(鳥取市鹿野町)	4月29日(日)	0	40
		「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介(その2)	鳥の劇場(鳥取市鹿野町)	5月5日(土)	0	0
普及講座・講演会等	計104件				5,670	157
	自然部門	小計20件			745	27
		《野外観察会》自然観察さいしょの一步	米子湊山公園	4月30日(月)	20	27
		《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 大山	大山寺周辺	5月12日(土)	30	0
		《天体観望会》春の星を見る会	博物館前庭	5月12日(土)	0	
		《野外観察会》集めよう鉱物！-百谷鉱山跡-	鳥取市百谷	5月26日(土)	20	0
		《ギャラリートーク》化石展ギャラリートーク	博物館展示室	7月15日(日)		0
		《自然講座》化石レプリカをつくろう！	博物館会議室	7月22日(日)	20	0
		《野外観察会》昆虫観察入門～街灯に集まる虫たち～	博物館周辺	7月28日(土)	30	0
		《講演会・トークセッション》講演会「世界の魚類化石:シーラカンスから国府町宮下まで(仮題)」	博物館講堂	7月29日(日)	250	0
		《自然講座》地層のでき方大実験！	博物館前庭	8月4日(土)		0
		《自然講座》みて！さわって！ホネを楽しもう	博物館会議室	8月5日(日)	20	0
		《野外観察会》化石をさがせ！ in 春米	若桜町春米	8月11日(土)	15	0
		《天体観望会》夏の星を見る会	博物館前庭	8月11日(土)	0	
		《ギャラリートーク》化石展ギャラリートーク	博物館展示室	8月12日(日)		0
		《自然講座》標本を調べる会	博物館会議室	8月19日(日)		0
		《ギャラリートーク》化石展ギャラリートーク	博物館展示室	8月26日(日)		0
《野外観察会》きのこを調べる会	大山町下山キャンプ場	10月20日(土)	30	0		

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！ in 倉吉	倉吉市打吹公園	11月10日(土)	20	0
		《講演会・トークセッション》昆虫たちの現状から考える鳥取県の自然(仮題)	博物館講堂	12月1日(土)	250	0
		《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	12月9日(日)	20	0
		《自然講座》キラキラ★標本アクセサリー！	博物館会議室	12月16日(日)	20	0
	人文部門	小計34件			1,190	34
		《連携講座》大雲院における歴代将軍年会忌法要	博物館会議室	4月14日(土)	20	0
		《歴史講座》人文部門常設展示コレクション展「刀剣爛漫」ギャラリートーク	美術展示室	4月14日(土)		0
		《歴史講座》縄文土器をつくる	博物館会議室	4月15日(日)	20	14
		《歴史講座》聞いてみよう！日本刀のアレコレ	美術展示室	5月3日(木)		0
		《ギャラリートーク》企画展「大いなる神仏の山 大山」	博物館展示室	6月3日(日)		0
		《民俗講座》大山と地藏菩薩	博物館会議室	6月3日(日)		0
		《連携講座》野の思想運動 神代復古運動／安徳天皇陵承認運動	博物館会議室	6月9日(土)	20	0
		《歴史講座》『大山寺縁起』の語るもの	博物館講堂	6月10日(日)	250	0
		《歴史講座》歴史と民俗を訪ねる会in大山	大山寺周辺	6月17日(日)	30	0
		《ギャラリートーク》企画展「大いなる神仏の山 大山」	博物館展示室	6月24日(日)		0
		《歴史講座》大山の仏教美術	博物館講堂	6月24日(日)	250	0
		《連携講座》第一次県史編さん事業と公文書館	博物館会議室	7月14日(土)	20	0
		《歴史講座》オリジナルの和綴じ本をつくろう	博物館会議室	7月29日(日)	20	0
		《連携講座》因州鳥取藩財政と海岸警衛御用—安政4年の藩債整理を中心に—	博物館会議室	8月11日(土)	20	0
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月19日(日)	40	0
		《歴史講座》江戸時代西伯耆の黄檗寺院	米子市内	9月8日(土)	200	0
		《歴史講座》自分の花押をつくる	未定	9月9日(日)	20	0
		《歴史講座》泥塔クッキーをつくろう	久松地区公民館(仮)	9月21日(金)	10	0
		《連携講座》鳥取城周辺から出土した江戸後期の「やきもの」考	博物館会議室	10月13日(土)	20	0
		《歴史講座》古戦場・山城・莊園をあるく—秋里氏と千代川下流域—	鳥取市内	11月4日(日)	20	0
		《連携講座》因幡三上氏の岩井庄支配と山名氏	博物館会議室	11月10日(土)	20	0

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《歴史講座》明治150年「鳥取こちずぶらり」でまち歩き―近代編―	鳥取市内	11月11日(日)	10	0
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(赤碕～中山口)	琴浦～大山町内	11月18日(日)	20	0
		《歴史講座》近世梵鐘銘から中世因幡の歴史を探る	博物館会議室	12月8日(土)		20
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月23日(日)	40	0
		《連携講座》明治42年の韋駄天たち	博物館会議室	1月19日(土)	20	0
		《歴史講座》古文書講座―中世文書に見る鳥取の武家・寺社―	博物館会議室	2月10日(日)	20	
		《歴史講座》炉から見る鳥取の縄文遺跡(仮)	博物館会議室	2月10日(日)		0
		《歴史講座》古文書講座―中世文書に見る鳥取の武家・寺社―	博物館会議室	2月17日(日)	20	0
		《連携講座》鳥取地域史研究会記念講演会	博物館講堂	2月24日(日)	0	0
		《連携講座》鳥取藩寺社方日記について	博物館会議室	3月9日(土)	20	0
		《歴史講座》古文書講座―鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月10日(日)	20	0
		《歴史講座》古文書講座―鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月17日(日)	20	0
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(赤碕～下市)	琴浦町内	3月24日(日)	20	0
	美術部門	小計50件			3,735	96
		《バックヤードツアー》もっと博物館を知ろう！館内バックヤードツアー	会議室他(館内全域)	4月7日(土)	10	0
		《ギャラリートーク》刀剣研師による特別解説	博物館展示室	4月14日(土)		0
		《アートシアター》新日曜美術館シリーズ 北斎と広重同時代を生きた天才たち	博物館講堂	4月21日(土)	250	54
		《ワークショップつくり隊！のワークショップ》投げて描こう！	博物館地下バックヤード	4月28日(土)		42
		《ワークショップつくり隊！のワークショップ》キラキラマントで変身！	博物館会議室	5月5日(土)		0
		《アートシアター》≡草間彌生 わたし大好き	博物館講堂	5月12日(土)	100	0
		《アートシアター》匠の世界シリーズ 刀剣編	博物館講堂	5月19日(土)	250	0
		《館外普及事業》コレクション 宅配便in倉吉(仮)	未定	5月26日(土)		0
		《ワークショップ》カエルになろう！	博物館会議室	6月2日(土)	10	0
		《ギャラリートーク》コレクション 展 I	博物館展示室	6月9日(土)	250	0
		《アートセミナー》1950年代を考える	博物館会議室	6月16日(土)		0
		《アートシアター》匠の世界シリーズ 陶芸編 特集上映	博物館講堂	6月23日(土)	250	0

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《ワークショップづくり隊!のワークショップ》色水であそぼ!	博物館前庭	6月30日(土)		0
		《アートシアター》アートシアター	博物館講堂	7月7日(土)	250	0
		《未定	未定	7月14日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ「化石でフロッタージュ」	博物館会議室	7月21日(土)	20	
		《ワークショップ》スペシャル(ワークショップ)	博物館会議室	7月28日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ	博物館会議室	8月4日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ「泥でアート!」	博物館地下バックヤード	8月11日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ	博物館会議室	8月18日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ	博物館会議室	8月25日(土)		0
		《未定	未定	9月1日(土)		0
		《アートシアター》アートシアター	博物館講堂	9月8日(土)	250	0
		《アートシアター》アートシアター	博物館講堂	9月15日(土)	250	0
		《講演会・トークセッション》スペシャル(トークセッションorアートレクチャー)	博物館講堂	9月22日(土)	250	0
		《ワークショップ》山本兼文展関連	会議室他	9月29日(土)	15	0
		《講演会・トークセッション》企画展関連 講演会	博物館講堂・博物館会議室	10月6日(土)	250	0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館講堂・博物館会議室	10月13日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ	博物館講堂・博物館会議室	10月20日(土)		0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館講堂・博物館会議室	10月27日(土)		0
		《講演会・トークセッション》企画展関連 講演会	博物館講堂・博物館会議室	11月3日(土)	250	0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館講堂・博物館会議室	11月10日(土)		0
		《アートセミナー》アートセミナー	博物館会議室	11月17日(土)	40	0
		《講演会・トークセッション》企画展関連 講演会	博物館講堂・博物館会議室	11月24日(土)	250	0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館講堂・博物館会議室	12月1日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ	博物館講堂・博物館会議室	12月8日(土)		0
		《講演会・トークセッション》企画展関連 講演会	博物館講堂・博物館会議室	12月15日(土)	250	0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館講堂・博物館会議室	12月22日(土)		0
		《ワークショップ》ワークショップ	博物館会議室	1月12日(土)		0
		《アートシアター》アートシアター	博物館講堂	1月19日(土)	250	0
		《未定	未定	1月26日(土)		0
		《アートシアター》アートシアター	博物館講堂	2月2日(土)		0

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《アートセミナー》アートセミナー	博物館会議室	2月9日(土)	40	0
		《講演会・トークセッション》企画展関連 アーティストトーク	博物館展示室	2月16日(土)		0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館展示室	2月23日(土)		0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館展示室	3月2日(土)		0
		《ギャラリートーク》企画展関連 ギャラリートーク	博物館展示室	3月9日(土)		0
		《ギャラリートーク》コレクション展ギャラリートーク	博物館展示室	3月16日(土)		0
		《アートシアター》アートシアター	博物館講堂	3月23日(土)	250	0
		《ワークショップ》ワークショップ	博物館会議室	3月30日(土)		0
総計					5,670	197

## 平成 30 年度調査研究事業（自然）

### 長期計画（部門別テーマ）

鳥取県の自然史に関わる実物資料及び事象の情報を収集・保存し継承するとともに、本県の自然史を解明する。

### 中期計画（単年度～複数年度テーマ）

#### 地学分野

- ・鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究  
平成 29 年度～31 年度 担当：田邊 共同研究者：山名巖（鳥取市）他  
成果発表形態：論文、学会発表、常設展示
- ・谷口正夫・遠藤勝壽地学標本コレクションの整理及び調査研究  
平成 27 年度～30 年度 担当：田邊・榊山・渡邊  
成果発表形態：論文（当館研究報告）

#### 動物分野

- ・鳥取県の昆虫相と昆虫の分類に関する調査研究  
平成 29 年度～31 年度 担当：川上 共同研究者：立田晴記（琉球大学）他  
成果発表形態：論文、常設展示
- ・鳥取県の動物相と動物の分類に関する調査研究  
平成 29 年度～31 年度 担当：一澤 共同研究者：鶴崎展巨（鳥取大学）他  
成果発表形態：論文、常設展示
- ・鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究  
平成 30 年度～30 年度 担当：一澤・川上 共同研究者：林耕介（鳥取西高）他  
成果発表形態：論文（当館研究報告）、常設展示
- ・寄贈された昆虫標本コレクションの調査研究  
平成 30 年度～32 年度 担当：川上・鶴  
成果発表形態：論文（当館研究報告）

#### 植物分野

- ・鳥取県の植物相と植物の分類に関する調査研究  
平成 29 年度～31 年度 担当：清末 共同研究者：浅井康宏（東京歯科大学）他

成果発表形態：論文（当館研究報告他）、常設展示

- ・寄贈された植物標本コレクションの調査研究

平成 30 年度～32 年度 担当：清末 共同研究者：米澤朋子（鳥取市）他

成果発表形態：論文（当館研究報告）

## 平成 30 年度調査研究事業（人文）

### 長期目標（部門別テーマ）

鳥取県の歴史（原始古代～近現代）、民俗に関わる実物資料及び事象の情報を収集・保存し継承する。

### 中期目標（年度テーマ）

#### 考古分野

- ・縄文土器製作技術の調査研究

平成 27 年度～32 年度 担当：酒井 共同研究者：なし

成果発表形態：展示、体験事業

- ・鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究

平成 27 年度～32 年度 担当：酒井 共同研究者：なし

成果発表形態：展示

#### 歴史分野

- ・県内の石造物調査研究

平成 28 年度～33 年度 担当：山本 共同研究者：新鳥取県史編さん室・岡村吉明

成果発表形態：報告書、展示

- ・山陰地方ゆかりの宸筆の研究

平成 28 年度～33 年度 担当：山本 共同研究者：未定（東大史料編纂所を検討）

成果発表形態：報告書、企画展示

- ・鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究

平成 28 年度～33 年度 担当：山本 共同研究者：文化財課・中森祥

成果発表形態：展示、報告書



- ・鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究  
平成 27 年度～32 年度 担当：大嶋、浜橋、酒本 共同研究者：なし  
成果発表形態：研究報告
- ・鳥取県内の戦争遺跡に関する調査研究  
平成 26 年度～30 年度 担当：大嶋 共同研究者：なし  
成果発表形態：展示、報告書
- ・鳥取県の酒造業に関する調査研究  
平成 28 年度～33 年度 担当：大嶋 共同研究者：なし  
成果発表形態：展示

#### 民俗分野

- ・鳥取県内の狛犬に関する調査研究  
平成 22 年度～32 年度 担当：福代 共同研究者：石田敏紀  
成果発表形態：データベース
- ・鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究  
平成 24 年度～34 年度 担当：福代 共同研究者：藤木竜也（千葉工業大学准教授）  
成果発表形態：研究報告、展示
- ・大山の信仰に関する調査研究  
平成 28 年度～30 年度 担当：福代 共同研究者：なし  
成果発表形態：展示

### 平成 30 年度調査研究事業（美術）

#### 近世美術分野

- ・「鳥取藩絵師・土方稻嶺に関する調査研究」  
平成 27 年度～30 年度 担当：山下 共同研究者：なし  
成果発表形態：展覧会

#### 近代美術分野

- ・「日本の 1950 年代美術について多面的研究」  
平成 29 年度～33 年度 担当：尾崎

共同研究者：埼玉県立近代美術館、三重県立美術館、高知県立美術館、新潟県万代島美術館

成果発表形態：研究会、論文、展覧会

- ・「鳥取県出身の彫刻家・長谷川塊記に関する調査研究」  
平成 32 年度～35 年度 担当：三浦努 共同研究者：未定  
成果発表形態：論文、展覧会

#### 現代美術分野

- ・「福島敬恭の作品の展開に関する調査研究」  
平成 27 年度～30 年度 担当：赤井 共同研究者：なし  
成果発表形態：論文、展覧会
- ・「鳥取県ゆかりの現代美術作家に関する調査研究」  
随時 担当：赤井 共同研究者：なし  
成果発表形態：展覧会
- ・「現代美術作品による制度批評および社会に介入する芸術についての調査研究」  
平成 27 年度～30 年度 担当：赤井 共同研究者：なし  
成果発表形態：論文、企画展
- ・「地域型アートプロジェクトにおける批評とキュレーションに関する調査研究」  
平成 27 年度～30 年度 担当：赤井 共同研究者：小泉元宏（立教大学）  
成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表

#### 写真分野

- ・「塩谷定好に関する調査研究」  
平成 25 年度～31 年度 担当：赤井 共同研究者：なし  
成果発表形態：展覧会

#### 工芸・デザイン分野

- ・「鳥取県にゆかりのある現代の工芸家に関する継続的調査研究」  
随時 担当：三浦努 共同研究者：なし  
成果発表形態：企画展（平成 27 年度）、セミナー、論文
- ・「手仕事の技術を生かした現代・国内外のデザインに関する調査研究」

随時 担当：三浦努 共同研究者：なし  
成果発表形態：エッセイ、セミナー、論文

・「山陰の絣織りに関する技法および様式に関する調査研究」  
平成 29 年度～37 年度 担当：三浦努 共同研究者：未定  
成果発表形態：セミナー、論文、常設展示

・「鳥取県出身の工芸家・岡村吉右衛門のスケッチおよびノート類に関する調査研究」  
平成 30 年度～32 年度 担当：三浦努 共同研究者：なし  
成果発表形態：セミナー、論文、常設展示

#### 美術館教育分野

・「『来館者の学び』に関する理論と方法に関する調査研究」  
平成 27 年度～30 年度 担当：佐藤 共同研究者：未定  
成果発表形態：展示、ワークショップ

・「地域に根ざしたアートコミュニケーション事業の在り方に関する調査研究」  
随時 担当：山本 共同研究者：なし  
成果発表形態：ワークショップ

・「鳥取県にゆかりのある現代デザイン領域のクリエイター(映像、工業デザイン、服飾等)に関する調査研究」  
随時 担当：山本 共同研究者：なし  
成果発表形態：展覧会、ワークショップ

## 鳥取県ミュージアム・ネットワーク(T.M.N.) 美術館等協力連携推進事業について

県民のみなさんが県内どこにいても美術館のサービスが享受できるよう、また、「とっとりのアート」の県外への発信を強化するため、県内の美術館や博物館等で構成する「鳥取県ミュージアム・ネットワーク」を通じて、県立美術館を拠点に、美術系文化施設との協力連携の取組みを進めます。

1. 平成29年度にT.M.N.に美術館等連携計画検討委員会で策定した「美術館等協力連携計画」に基づき、各館の協力連携を推進するための具体的な取組みを下記のように実施する。
  - (1) 検討委員会の後継となる「美術館等協力連携推進委員会（仮称）」を組織し、計画に掲げた取組みの事業化にかかる意思決定を行う。
  - (2) 加盟館学芸員等から構成する後継委員会の専門部会、および必要に応じて設置するワーキンググループによる定期的な会議等により、計画に掲げた取組の具体的な内容を検討・企画立案し、事業化を図る。→ 年間最大7回程度
    - ・今後、共同企画展等を開催していくための模索・研究
    - ・収蔵品データベース構築の研究
    - ・学校教育との連携促進のための研究等
  - (3) 加盟館学芸員等の資質向上を目的に、外部講師による美術展示の方法論や、最新設備の研究等に特化した研修・講習会を開催する。→ 年間最大3回程度  
〔想定される外部講師等〕
    - ・美術館使用設備（照明機器、収蔵保管施設整備、展示機器等）業者社員等
    - ・収蔵品データベース業者社員等
    - ・他県美術館等学芸員
2. 美術館等協力連携推進委員会（仮称）構成委員所属館
  - ・鳥取県立博物館（事務局）
  - ・鳥取民藝美術館、渡辺美術館、倉吉博物館、北栄町北条歴史民俗資料館（北栄みらい伝承館）、米子市美術館、伯耆町立写真美術館（植田正治写真美術館）、日南町美術館

## 平成30年度博物館資料アドバイザー派遣事業

◎平成30年度もアドバイザーの担当館は昨年度と同様である。

取組館名(市町村名)	担当アドバイザー(姓のみ)
北条歴史民俗資料館(北栄町)	◎日置、小山、眞田、田村
琴浦町歴史民俗資料館(琴浦町)	◎眞田、小山
日野町歴史民俗資料館(日野町)	◎田村、小山
江府町歴史民俗資料館(江府町)	◎小山、眞田

(参考)

【アドバイザー名簿】……氏名50音順。本人から了解が得られた情報のみ掲載。

氏名	現所属・職	前職等	専門(年代等)
こやま ふみお 小山 富見男	新鳥取県史編さん委員(現代部 会長)、鳥取地域史研究会長	—	近現代
さなだ ひろゆき 眞田 廣幸	—	倉吉博物館館長、倉吉市教育 委員会文化財課長	仏教考古学
たむら たつや 田村 達也	—	鳥取県立公文書館専門員、鳥取県 立図書館専門員、県立高校教諭	近現代
ひおき くめざえもん 日置 衆左エ門	—	新鳥取県史編さん専門委員	日本中世史 (文書中心)

【平成30年度の予定】

◎北栄町

小山氏の指導の下で平成30年度も前年度に引き続きこれらの整理を進め展示公開を行う予定である。その他考古・歴史資料も眞田氏・日置氏の助言の元、再整理を進める。

◎琴浦町

平成30年度も、収蔵資料の移転や調書作成について助言を行うとのことである。眞田氏は収蔵されている考古資料の展示・整理について引き続き助言を行う予定である。

◎江府町

江府町歴史民俗資料館の展示改善についての助言を行う予定である。

◎日野町

アドバイザーは資料館の評議委員として、歴史民俗資料会や町内文化財の活用に関する委員会に参加予定である。